

丸亀城管理室だより No. 5

令和 2 年 10 月 19 日

10月8日、9日の崩落から2年

平成30年7月7日、帯曲輪石垣の崩落後、台風24号の影響などにより、10月8日、帯曲輪石垣南西角部が崩落、続く10月9日、支えを失った三の丸坤櫓台跡が崩落しました。



【平成30年10月9日 撮影】

一瞬の崩落でしたが、復旧には長い年月を要するものとなりました。

応急対策工事の完成



【令和元年6月19日 撮影】

石垣崩落後、本格復旧工事に着手するまでの間、更なる崩落を防ぐため、応急対策工事を行いました。

本格復旧工事のようす



【令和2年10月1日 撮影】

三の丸では2・5段目までグラウンドアンカーの打設が完了しています。少しずつではありますが、着実に復旧工事は進んでいます。

目標より6ヵ月遅れ

丸亀城石垣崩落復旧整備事業は5ヵ年での復旧を目標に掲げ、令和6年3月末までの完成に向けて工事を進めています。掘削のり面を安全に切り下げるためのグラウンドアンカー工法の導入や、右のような【遅れの原因】に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言による工事の一時中止等により、三の丸での工事・調査が来年2月末までかかることにより、帯曲輪での工事・調査に遅れが生じたものです。今後は、安全に配慮しながら、少しでも工期が短縮できるよう努めます。



三の丸斜面のクラック



長引いた梅雨



狭い場所での作業



三の丸の埋没石垣

全体工程表

10/1現在

業務名称	数量	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)
測量・地質調査業務	1式	■	■			
施工方法検討及び詳細設計業務	1式	■	■	■	■	
崩落メカニズム解析業務	1式	■	■			
石垣構造・安定等設計業務	1式	■	■			
三の丸石垣解体工 石材調査	405石 (131m ²)	■	■	■	■	■
崩落石材回収工 石材調査	4,123石		■	■	■	■
帯曲輪石垣解体工 石材調査	289石 (88m ²)		■	■	■	■
帯曲輪石垣 復旧工	1,160m ²			■	■	■
三の丸石垣 復旧工	1,470m ²				■	■

目標 : ■
見通し : ■

6ヶ月

新石材候補地を現地視察

崩落等石垣約 6,000 石のうち、調査により再使用ができないと評価された旧石材は、新しいものに交換しなくてはなりません。丸亀城の石垣に使われている石材について、具体的な産地を示す文献史料は確認されていませんが、備讃瀬戸の島しょ部には、石材を切り出したと見られる跡が多数確認されています。丸亀城の石垣に使用する新石材は、積み直し時までに約 1,000 石を瀬戸内地域で確保する予定です。

新石材調達の事前調査として、複数ある候補地の中から、釜の越採石場（丸亀市広島町）と灘山採石場（小豆島町）を視察しました。

【丸亀城の石材の特徴】

- 1 石の種類：花崗岩
- 2 目の粗さ：粗目
- 3 色味：黄色



「広島町釜の越」の磯では、石を切り出したと思われる岩や矢穴痕が見られます。

石垣復旧 PR 館

丸亀城石垣崩落復旧整備事業の進捗よく状況や、丸亀城の魅力情報発信館として、昨年 12 月にオープンした PR 館。令和 2 年 9 月末までの来館者数は延べ 11,902 人です。10 月 19 日より PR 館前で埋没石垣 1 の屋外展示が始まります。

石垣崩落は悲しい出来事でしたが、新たな発見や人との出会いがありました。皆さまと共に石垣崩落を乗り越えたいと思います。

VR コーナーでは 12 の隅櫓などが建ち並び、江戸時代の丸亀城が体験できます。



鹿島建設のコーナーでは、小峰城（福島県白河市）の修復事例を紹介しています。

屋外展示【埋没石垣 1】

三の丸斜面で見つかった埋没石垣 1 を解体しました。埋没石垣 1 は三の丸斜面に「ハ」の字に広がるような形で出現しました。実際に確認できた大きさは 6 段、高さは 2m を超えていました。

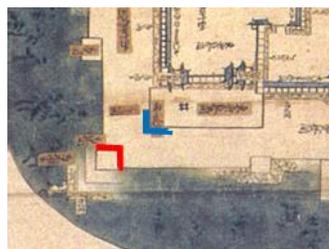


PR 館隣接地に屋外展示される埋没石垣 1

裏栗石もしっかり再現されています。



丸亀城に関する江戸時代の文書の中に「三丸坤之角石垣破損（三の丸坤櫓石垣が壊れた）」と書かれてあり、その時崩れた石垣が、この埋没石垣 1 である可能性が高いと考えています。



正保年間に作られた絵図は、山崎氏による丸亀城再築の様子が描かれ、坤櫓の高石垣は未完成です。



埋没石垣 1 は坤櫓の石垣、埋没石垣 2 は初期の井戸曲輪を画す応急の石垣であった可能性が考えられます。

赤の線が埋没石垣 1、青の線が埋没石垣 2 です。

★スッポン百景

丸亀城内堀には白鳥や鯉など様々な生き物が生息していますが、お堀のスッポンをご存知ですか。カメかな？と思ってよく見ると、スッポンでした。

天気のいい日にはお堀北西の白鳥小屋でカメとスッポンが仲良く甲羅干しをしている姿が見られます。



作成：丸亀市教育部 文化財保存活用課
丸亀城管理室 TEL0877-23-2107